

# 30E02-am01S

2-アミノフラン誘導体とマレイミド類とのDiels-Alder反応を利用した新規N-アリアルフタルイミド誘導体の合成

○高須 優<sup>1</sup>, 岡部 史<sup>1</sup>, 丸岡 博<sup>1</sup>, 益本 英一<sup>1</sup>, 藤岡 稔大<sup>1</sup>, 山方 健司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>福岡大薬)

[目的] 当研究室では、これまでにフラン類とマレイミド類の Diels-Alder 反応を利用したフタルイミド類の簡便な合成法<sup>1)</sup>を確立し、さらに生物活性検索を行った結果、合成したフタルイミド類の中に高い生物活性を示す化合物を見出した。そこで、さらなる生物活性の探索を目的に *N*-アリアルフタルイミド誘導体の合成を行った。

[方法と結果] まず、無水マレイン酸とベンゼン環に電子求引基または電子供与基が置換したアニリン類をエーテル中室温で 1 時間反応した後、無水酢酸中酢酸ナトリウムと 30 分還流して、マレイミド類 **2** を合成した。次いでフラン **1** と合成したマレイミド類 **2** を酢酸中 8 時間還流して、2 位にアリアル基を誘導した新規フタルイミド誘導体 **3** を好収率で得た。



1) H. Maruoka *et al.*, *Heterocycles*, **2009**, 77(1), 617-628.